

## 第4章 協働プロジェクト

環境問題に取り組むためには、環境保全活動への関心や参加意欲の向上、環境保全活動を担う人材や組織の発掘・育成などが求められます。こうしたことから、第2次環境基本計画の中で市民・事業者と市が協働して取り組む「協働プロジェクト」を位置づけています。

「望ましい環境像」実現に向けて協働プロジェクトを推進することにより、環境問題への関心の拡大、環境活動への参加拡大、地域コミュニティの活性化、町会・自治会と環境保全活動団体の連携拡大を図ります。

協働プロジェクトの評価は、市で把握できる市民・事業者との協働による活動実績（評価指標として参加者数、活動箇所数や参加世帯数など）及び活動状況などについて把握し、5つのプロジェクトごとに結果をとりまとめ評価します。

### 第1節 里山復活プロジェクト

私たちの生活の源である里山・谷戸や身近な斜面緑地など、貴重なみどりの機能を回復することが重要です。地下水かん養や生物多様性の保全など、みどりや水辺の持つ多面的機能の回復をめざします。

|      | 29 年度実績                                                                                                                                                                          |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評価指標 | 戸吹環境教育・学習拠点整備事業（活動箇所 1、受講者 11 人 前年比 6 人減）<br>上川の里特別緑地保全地区整備（活動箇所 1、参加者延べ 1,400 人 前年比 700 人増）<br>川口川上流域谷戸と水路の生きものプロジェクト（参加者 19 人 前年比 2 人増）<br>公園アドプト制度（活動箇所 19、登録者 1,565 人 前年に同じ） |

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

#### <市内部での総括評価>

里山復活プロジェクトに該当すると考えられる事業が環境政策課、環境保全課、水環境整備課、公園課の4所管において行われている。「全国都市緑化はちおうじフェア」のスポット会場として活用した上川の里特別緑地保全地区では、フェア関連事業等幅広いイベントや事業を市民主体で実施し、参加者の増加につながった。各事業とも地域の自然環境を活かした環境教育・環境学習の場として活用している。

#### <今後の展開>

「全国都市緑化はちおうじフェア」での市民主体による活動の高まりを活かし、市民・事業者・市が協働するとともに環境教育・環境学習の場として活用していく。

#### <環境推進会議での相互評価>

八王子の魅力のひとつであるみどりをPRするためにも里山の保全活動を支援し、イベントなどで活用することが必要である。市民・事業者・市との協働により維持管理や活用に努めていただきたい。

## 第2節 生ごみ資源化促進プロジェクト

「循環型都市八王子」の実現には、一層のごみの減量・資源化が重要です。生ごみの減量・資源化のため、地域の特性に応じた生ごみの地域循環を促進します。

|      | 29年度実績                             |
|------|------------------------------------|
| 評価指標 | ダンボールコンポスト講習会（参加者 406 人 前年比 58 人減） |

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

### <市内部での総括評価>

家庭へダンボールコンポストを普及するため、八王子市生ごみリサイクルリーダーによる講習会を実施しており、生ごみリサイクルリーダーの活用場ともなっている。ダンボールコンポスト購入に対して補助を行っている。ダンボールコンポストで作ったたい肥を「全国都市緑化はちおうじフェア」で活用するため、28年度は講習会の回数を増やしていたが、29年度は元に戻したため参加者が減となった。そのほか、八王子市生ごみリサイクルリーダーとともに生ごみ減量・資源化の冊子を作成したため、今後の生ごみ資源化等の啓発に活用していく。

### <今後の展開>

生ごみリサイクルリーダーを養成するための八王子市独自の養成講座を、生ごみ資源化に意欲のある普及協力市民を対象にエコひろばで実施し、生ごみリサイクルリーダーの増員をめざしていく。

### <環境推進会議での相互評価>

地域で簡単に取り組めるダンボールコンポストは、生ごみを資源化する大事なツールのひとつだと考えるが、全市に広がるような取り組みとなるよう努めていただきたい。

### 第3節 省エネ応援プロジェクト

地球温暖化を防止するためには、一人ひとりがCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいくことが重要です。家庭や職場、地域などで省エネ知識を高め、簡単に継続的に取り組める省エネ行動を応援します。

|      | 29年度実績                                       |
|------|----------------------------------------------|
| 評価指標 | 家庭における省エネの推進(はちおうじ省エネ国の会員[3,864世帯]前年比224世帯増) |

#### 基本施策の評価： 目標を達成した

##### <市内部での総括評価>

地球温暖化防止活動推進員同士でブラッシュアップ学習会を実施し、「家庭の省エネエキスパート検定」取得に取り組むとともに、講座やイベントを通じて省エネに関する知識の普及啓発を図った。また、環境フェスティバルや地球温暖化防止普及啓発イベントなどで、はちおうじ省エネ国の参加登録を募り、前年比6%増となった。

##### <今後の展開>

地球温暖化防止活動推進員の地域での活動の幅を広げ、市域全体に展開していく。また、はちおうじ省エネ国の参加を募ることにより継続的に省エネ活動を実施する世帯を増やす。

##### <環境推進会議での相互評価>

新たな取組である「はちエコポイント」を活用するとともに、地球温暖化防止活動推進員と連携した啓発を行うことで、より多くの市民が省エネに継続的に取り組めるよう努めていきたい。

#### 第4節 環境教育サポートプロジェクト

環境問題を解決していくためには、一人ひとりが問題を認識・理解し、行動することが重要です。  
小・中学校における総合的な学習の時間などを活用し、学校での環境教育を支援します。

|      | 29 年度実績                                                                                                                                                                                                                                             |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評価指標 | 環境教育支援事業(実施 10 校、授業を受けた児童・生徒延べ 1,440 人前年比 3,038 人減)<br>八王子浅川水辺の楽校(授業を受けた児童・生徒延べ 286 人 前年比 72 人増)<br>八王子市小学校科学教育センター事業(センター生に登録した児童 101 人 前年比 6 人減)<br>自然観察会(参加者 74 人 前年比 16 人減)<br>北野環境教育・環境学習委員会(環境施設の社会科見学及び職場体験で受け入れた児童・生徒延べ 2,926 人 前年比 206 人減) |

基本施策の評価 : ほぼ目標を達成した

##### <市内部での総括評価>

児童・生徒を対象とした環境学習を地域の人材を活用して、5 所管が実施している。里山や河川などでの体験学習のため天候などにより参加人数は増減するが、計画に沿った事業を実施した。

##### <今後の展開>

小・中学生に環境学習を行うことで環境意識の向上を図る。

##### <環境推進会議での相互評価>

小学生・中学生への環境教育は非常に重要な取組である。引き続き各所管とも連携を図り、市民・事業者・市との協働により環境教育を進めていただきたい。

## 第5節 地域の環境美化プロジェクト

まちの美化を進めるためには、モラルやマナーを守り、都市の美観を保持することが重要です。市民・事業者が、清潔できれいな地域の環境づくりに取り組めるよう支援します。

|      | 29 年度実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 評価指標 | 道路アドプト制度（登録者 4,218 人 前年比 389 人増）<br>公園アドプト制度（登録者 19,231 人 前年比 23 人増）<br>水辺の水護り制度（登録者 22 団体 410 人 前年比 4 人増）<br>落書き消去活動（参加者延べ 45 人 前年比 13 人減）<br>生活安全パトロール（参加者延べ約 500 人 前年に同じ）<br>違反屋外広告物除去活動（参加者延べ 230 人 前年比 112 人増）<br>八王子中町・花街の街並みの維持活動（参加者 4 人 前年に同じ）<br>市民緑化支援事業（協力 15 団体 前年に同じ）<br>花づくり事業（会員 60 人 前年比 4 人増）<br>戸吹清掃美化委員会（参加者延べ 144 人 前年比 12 人増）<br>慰霊塔清掃（参加者延べ 140 人 前年比 80 人増）<br>老人ホーム跡地美化（参加者延べ 1,750 人 前年比 500 人増）<br>みんなの町・川の清掃デー（参加者 22,086 人 前年比 2,679 人減）<br>南浅川にぎわいづくり（参加団体 23 町会 前年に同じ）<br>生涯学習センター植栽ボランティア（参加者 419 人 前年比 29 人増）<br>国土交通省ボランティア・サポート・プログラム（協定団体 5 団体 前年比 1 団体増） |

### 基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

#### <市内部での総括評価>

まちの美化をすすめるために9所管で13事業行っている。道路アドプトや公園アドプト、水辺の水護り制度などおおむね参加者は増加している。事業者、町会、自治会、学校、個人、環境保全団体などの様々な主体が活動している。

#### <今後の展開>

さらに、地域の環境美化に努める。

#### <環境推進会議での相互評価>

多くの市民ボランティアが継続して美化活動に努めていることは高く評価できる。市民が、ひとりからでも気軽に参加できるような制度の構築も考えていただきたい。